

## 「第3回あきた産業人材育成協議会」について

「産業人材の育成、特にユニークでオリジナルな人材の育成には何が必要か」をテーマとする「第3回あきた産業人材育成協議会」が7月11日（火）県議会棟特別会議室で開催されました。

今回は、県等で実施している人材育成に係る施策の紹介の後、教育界から現状と企業側や行政に求めること、企業側から教育界や行政に求めることを提起していただきました。

### ・秋田工業高等専門学校 宮田克正委員 は

実験・モノづくりをベースにしたアナログエンジニアの養成や会話、読解、英作文を包括した英語力の育成に力を入れている現状を紹介し、企業側に求めることとして、学生のインターンシップの促進や、学校側の持っている基礎的・応用的ポテンシャルを是非活用していただきたいと述べられました。

### ・北日本コンピューターサービス(株) 江畑佳明委員 は

産業人材育成は、まさに経営者の責任であるとの考えに立ちつつ、構想力やコミュニケーション能力などを磨くための社会人と学生の相互啓発の場を産学官連携で提供する、経済交流ミッション等で海外に行く際に若手の人材を帯同させて、現地の同世代の人々と交流させる等、「育成する」「発掘する」「連れてくる」「送り込む」という視点での具体的提案をされました。

その後提示された、提言の素案（項目立て）を基にした意見交換では、秋田県の独自性を出すような施策が提言の中に出てこないのか、人材育成に関する施策は非常に多く、選択と集中が必要ではないか、県外流出による人材の絶対数の減少についての視点も必要ではないか等の意見が出されました。

今後提言を構成していく中で、今回の意見を盛り込むことを検討し、さらなる具体的施策等について各委員の方々から御意見をいただくということで閉会となりました。

第4回協議会は9月4日（月）を予定しています。